

ドラム缶用オイルポンプ オイル流量計

取扱説明書

【品番】SET-DP-1DN、SET-DP-1S

この度は「ドラム缶用オイルポンプ オイル流量計」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。

SET-DP-1DN
(台車なし)



SET-DP-1S
(台車あり)



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■はじめに

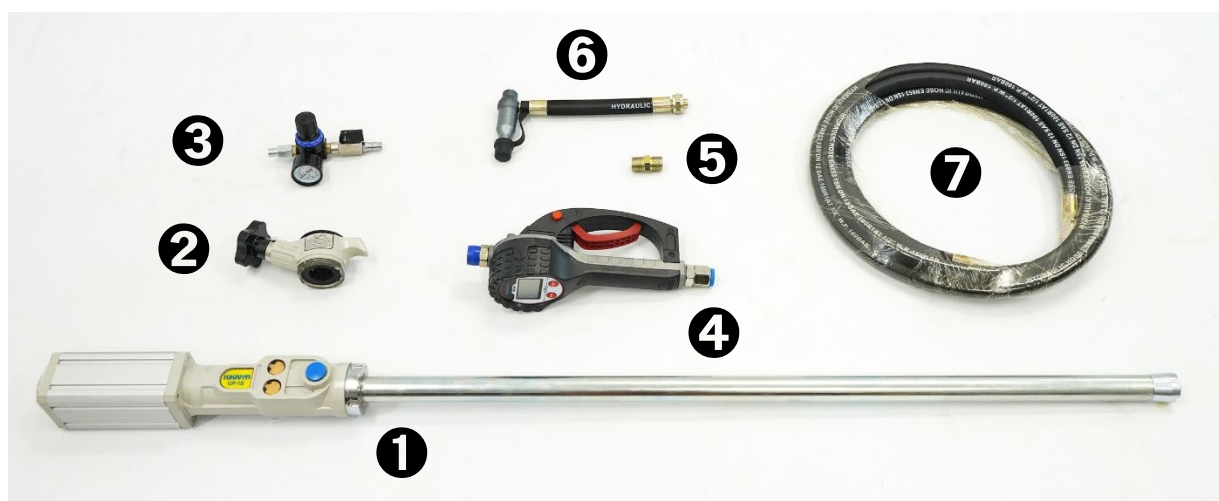
- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
- 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
- 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
- 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
- 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■製品使用上のご注意

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますので、はさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- 作業に適した服装(作業服・安全靴・手袋・保護メガネ等)でご使用ください。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。
- このポンプと流量計はオイル専用です。
揮発性やオイル以外の物に使用しないでください。
- このポンプは屋内専用です。
屋外では使用しないでください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。

■ パーツリスト

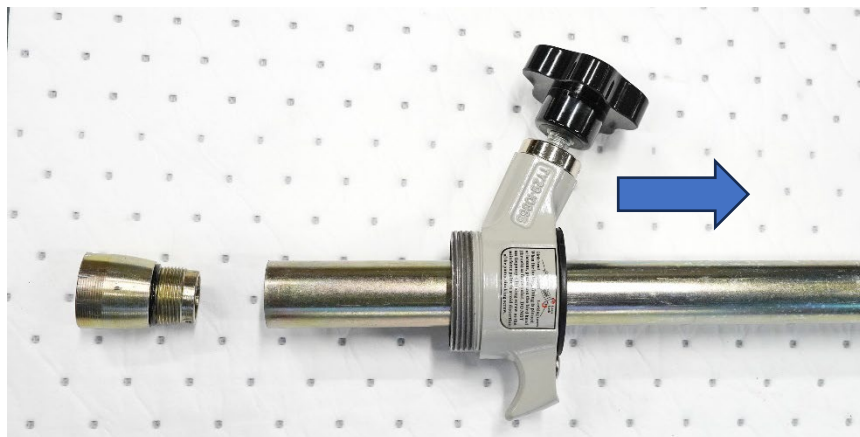


No.	名 称
①	ポンプ本体
②	アダプター
③	エアーレギュレーター
④	オイル流量計
⑤	コネクター
⑥	ノズル
⑦	オイルホース

■組立て手順

1. ポンプ(❶)支柱下の金具を外し、アダプター(❷)を支柱下より挿入する。

※挿入する向きに注意してください。



2. エアレギュレーター(❸)のポンプと接続する部分にシールテープを巻き、ポンプ(❶)に取り付ける。

※シールテープは付属していません。お客様にてご用意ください。

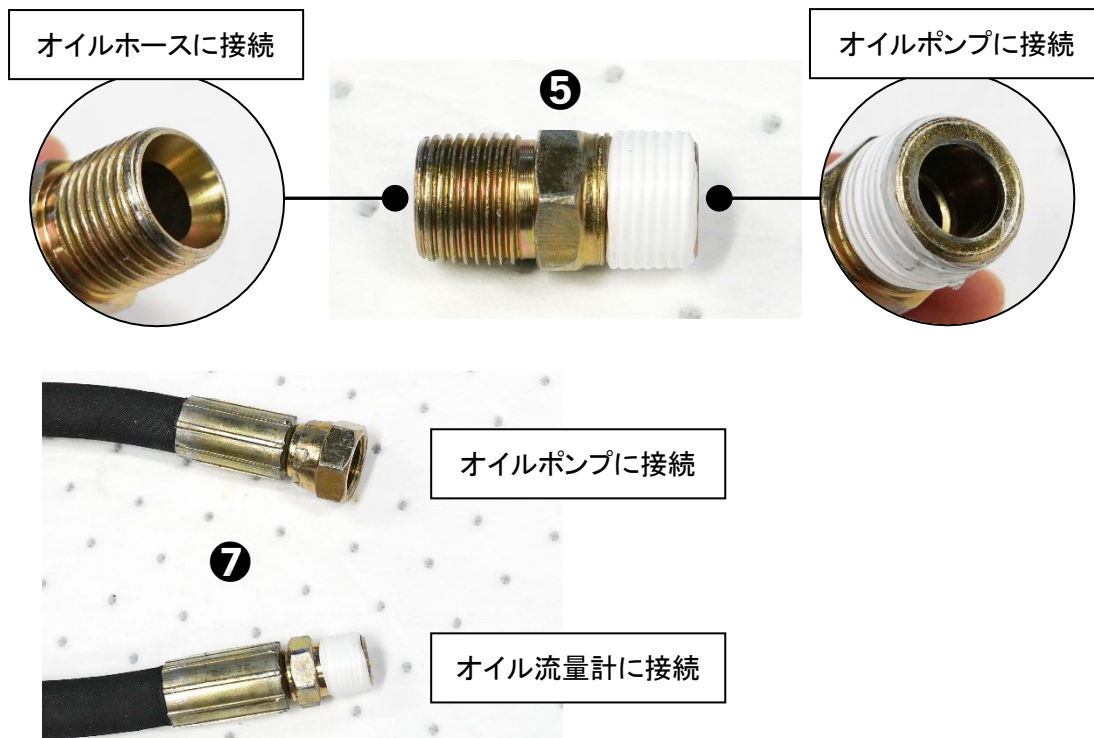
※シールテープは必要な部分に2～3周巻いてください。



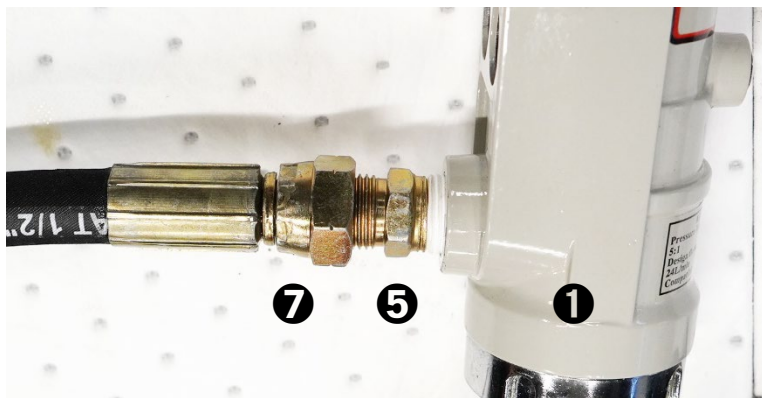
シールテープ



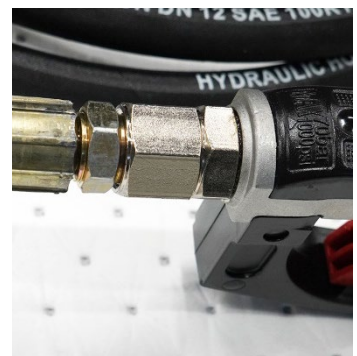
3. コネクター(⑤)のオイルポンプと接続する側にシールテープを巻く。
オイルホース(⑦)のオイル流量計に接続する側にシールテープを巻く。



4. オイルポンプ(①)にコネクター(⑤)とオイルホース(⑦)を取り付ける。



5. オイル流量計(④)にオイルホース(⑦)を取り付ける。



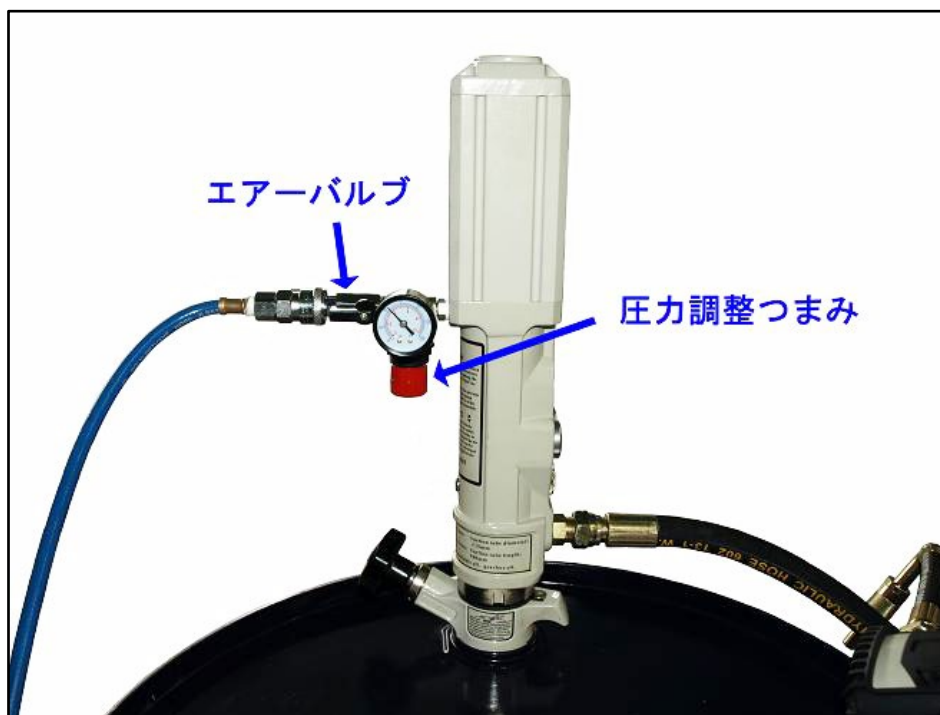
6. 接続部はモンキーレンチなどで確実に締めてください。
締め付けが甘いとオイル漏れの原因となります。



7. オイル流量計(④)にノズル(⑥)を取り付ける。



■使用方法



1. ドラムキャリアにオイルの入ったドラム缶を置きます。
2. ドラムポンプをドラム缶に差し込んでポンプをセットします。
3. ポンプに付属のエアー圧力調整つまみを緩めます。
4. エアーバルブを閉じた状態でエアー接続口にエアーを接続します。
5. エアーバルブを開きます。
エアー圧力ゲージを見ながら調整つまみをゆっくりと締め込みます。
6. 圧力をはじめは 2～3 目盛りぐらいに合わせます。
7. 流量計の先端ノズルのキャップを 1～2 回転緩めます。
8. ガンスロットを握るとオイルが噴出されます。
ノズルはオイルが飛び散らないようにウエスなどをあてがってください。
噴出されるオイルの量はエアー圧力を調節することで変化します。
9. 使い終わったら先端ノズルのキャップを締めるとホースに残ったオイルが垂れて出てきません。

■ポンプ使用上注意

- オイルは先端ノズルから勢いよく出ます。
オイルが跳ね返って飛び散る場合がございますので、ウエスなどで先端部分を押さえてオイルが飛び散らないように注意してください。
- 使用するエアは水分の無い乾燥したエアを使用してください。
水分が多いと故障の原因となります。
- ポンプのピストンを潤滑するために 1 ヶ月に一度、エア入口よりオイルを 2～3 滴入れてください。

■オイル流量計使用方法

1. 仕様

電源	3V (CR123A)	最低エア圧力	0.7 バール
接続口径	1/2 インチ	破壊圧力	140 バール
流量	1～30 L/分	最大圧力	70 バール

2. 単位量の設定

この操作は通常一度設定すると変更することはありません。

日本国内では単位(リットル)を使用します。

このメーターには以下の単位を設定することが可能です。

(L=リットル、QT=クオート、PT=パイント、Gal=ガロン)

- ① TOTAL ボタンを 2 回押し、次に RESET ボタンを 2 秒以上長押しし
表示部に何らかの数値(表示値)と単位量を表示します。
- ② TOTAL ボタンで桁を変更して単位量の部分を点滅させます。
そして RESET ボタンを押して単位を変更させます。
- ③ 単位を合わせたら、RESET と TOTAL ボタンを同時に 2 秒以上長押しするとメーターが
記憶します。

3. 流量表示の調整（数値の補正）

流量計を使い続けていくと数値がずれたり、初期的に数値が合わない時はキャリブレーションを行ってください。

- ① まずはじめに、あらかじめ正確な量が分かる容器を用意します。
その容器にオイルを入れてください。
- ② 例えば 3 リットルの容器にオイルを 3 リットル入れます。
その時のメーターの数値は 2.94 リットルを表示したとします。
その時に基準値を出すために計算します。
$$3 \text{ (実際の量)} \div 2.94 \text{ (表示した量)} = 1.0204 \text{ (基準値)}$$
- ③ 次に TOTAL ボタンを 2 回押し、次に RESET ボタンを 2 秒以上長押しします。
表示部に 0.9980 を表示したとします。
- ④ 次にその表示値 0.9980 に先ほど計算で出した 1.0204(基準値)を掛けます。
$$0.9980 \text{ (表示値)} \times 1.0204 \text{ (基準値)} = 1.0183 \text{ (計算値)}$$
- ⑤ 計算値が出たら、表示値(0.9980)を計算値(1.0183)に変更してください。
TOTAL ボタンで桁を、RESET ボタンで数値を変更して計算値に合わせてください。
- ⑥ 数値を合わせたら、RESETボタンとTOTALボタンを同時に 2 秒以上長押しするとメーターが記憶します。

■流量計使用上注意

- 数値の補正をしてもオイル量が合わない時は、2～3 回上記方法を繰り返してください。
- オイルの粘度や気温など、使用状況に応じて若干の表示誤差が発生しますので、その都度キャリブレーションを行ってください。
- 圧力メーターを見て、既定圧力(グリーンの範囲)以上にはポンプの圧力を上げないでください。上げすぎると破損する可能性があります。